

男女共同参画関連科目の開講状況(平成22年度)

◆ 男女共同参画を理解するために
(女性学・ジェンダー論、歴史・文学などの視点からの科目)

| No | 開設部局等 | 開講学期 | 曜日 時限 | 対象 年次 | 科目名等 | 講義コード | テーマ | 担当教員名 (職名) | 科目区分 |
|----|---------|------|------------|----------|---------------------|----------|---|---|----------|
| 1 | 教養教育 | 後期 | 金 5,6 | 1年次 | 生活をとりまく家族・ 地域・産業 | 55214002 | 日本社会の家族・地域・産業といった生活世界の各領域の仕組み、特徴を明らかにするとともに、産業化に伴う社会構造の変動が我々の地域生活、家族生活といった生活領域にどのような変動をもたらしたかを検討していきたい。 | 西村 雄郎 (准教授) | パッケージ別科目 |
| 2 | 教養教育 | 前期 | 火 1,2 | 1年次 | 文化人類学の世界 | 53212001 | 現代は、ヒト、モノ、金、情報が国境を越えて移動するグローバル化の時代と言われる。金融危機、地球温暖化、少子高齢化などの現象が引き起こす問題が、一つの国の枠組みの中で収まらず、地球規模で人々に影響を与えている。また、ある地域の問題の解決策が、別の地域では、思わぬ影響を与えていることもある。本授業では、人間を理解するのに、異文化と接触し、他者の理解という迂回路を通して自己の理解を目指すという文化人類学の方法論を用いて、グローバル化の時代に、人々が直面する様々な問題を多角的に検討する。特に、「同じ現象でも文化的背景が異なると違って見える」という事手がかりとして、異文化の衝突に着目し、双方の立場から見た異なる解釈を付き合わせることによって生まれる相互理解をめざす。ビデオを通して、人々の生活様式や価値観の多様性を検討する。 | 佐野 真理子 (教授) | パッケージ別科目 |
| 3 | 教養教育 | 後期 | 火 3,4 | 1年次 | 文化人類学の世界 | 53212002 | | | パッケージ別科目 |
| 4 | 教養教育 | 後期 | 月 3,4 | 1年次 | 女と男の諸相 | 40011001 | 私たちは、恋愛や友情といった親密な人間関係を、個人どおしの私的な付き合いとして行っている。しかしそういった親密な関係は、社会的な男女の権力関係のなかで営まれている。そのことを、性的マイノリティーや性暴力といった具体的な問題から解きほぐす。それによって、性暴力の加害者にも被害者にもならないよう、性の権力に自覚的であるような視点を獲得することを目指す。 | 大池 真知子 (准教授) | 総合科目 |
| 5 | 教養教育 | 前期 | 木 3,4 | 1年次 | ジェンダーと社会 | 65210001 | 現在の社会におけるジェンダーを巡る諸問題について理解し、なぜ男女共同参画が必要なのか、どうすれば男女共同参画社会が実現できるのかについて考える。男女共同参画の必要性を理解すると共に、男女共同参画推進のための各種制度に関する基本的な知識を習得し、現状の問題点について考えることができるようになることを目指す。なお、授業は複数の講師によるオムニバス形式で行う。 | 坂田 桐子 (教授) | 領域科目 |
| 6 | 教養教育 | 後期 | 金 11,12 | 1年次 | 社会学の視点 | 62920001 | 現代社会を分析する学問としての社会学の視点、方法を学び、種々の社会現象を分析、理解していく。今年は産業化が進展する中で生じた高度産業社会の問題、とりわけ、格差社会の拡大と家族の問題を取り上げ、現代社会のあり方に考察を加えていきたい。 | 西村 雄郎 (教授) | 領域科目 |
| 7 | 教養教育 | 前期 | 月 11,12 | 1年次 | 文化人類学 | 65820001 | 人間と文化の関係についての人類学的見方の習得(1) | 高谷 紀夫 (教授) | 領域科目 |
| 8 | 教養教育 | 前期 | 水 5,6 | 1年次 | 文化人類学A | 65030001 | 人間と文化の関係についての人類学的見方の習得(1) | 長坂 格 (准教授) | 領域科目 |
| 9 | 教養教育 | 前期 | 木 5,6 | 1年次 | 文化人類学A | 65030002 | | 高谷 紀夫 (教授) | 領域科目 |
| 10 | 教養教育 | 前期 | 金 5,6 | 1年次 | 文化人類学A | 65030003 | | 佐野 真理子 (教授) | 領域科目 |
| 11 | 教養教育 | 後期 | 月 5,6 | 1年次 | 文化人類学B | 65031001 | | 長坂 格 (准教授) | 領域科目 |
| 12 | 教養教育 | 後期 | 水 5,6 | 1年次 | 文化人類学B | 65031002 | | | 領域科目 |
| 13 | 教養教育 | 後期 | 木 1,2 | 1年次 | 文化人類学B | 65031003 | 人間と文化の関係についての人類学的見方の習得(2) | 高谷 紀夫 (教授) | 領域科目 |
| 14 | 教養教育 | 後期 | 木 5,6 | 1年次 | 文化人類学B | 65031004 | | | 領域科目 |
| 15 | 教養教育 | 後期 | 金 5,6 | 1年次 | 文化人類学B | 65031005 | | 佐野 真理子 (教授) | 領域科目 |
| 16 | 総合科学部 | 前期 | 水 5,6 | 2年次 | ジェンダー学 | AF114001 | 身近な問題をとりあげ、それらをジェンダーの視点から分析することを学ぶ。 | 大池 真知子 (准教授) | 専門教育科目 |
| 17 | 総合科学部 | 後期 | 水 5,6 | 3年次 | ジェンダー学演習 | AF426001 | 異文化のジェンダーのありようを知ることで、自文化のジェンダーのありようを問い直し、私たちが社会のなかでいかに女となり、男となっていくのかを考える。具体的には、アフリカで行われている性器加工術(いわゆる割礼)をとりあげる。 | 大池 真知子 (准教授) | 専門教育科目 |
| 18 | 総合科学研究科 | 前期 | 火 3,4 | M1年次 | 異文化理解 | AZ4C0401 | 歴史が動き、異なる文化が交わるときには、さまざまな力関係が働く。本授業では文学作品をおもな題材として取り上げ、それらの力関係をジェンダー、民族、人種、階級、国籍などの観点から批判的に分析することを学ぶ。 | 大池 真知子 (准教授) KOJIMA-RUH, CHRISTEL HANNELORE (教授) | 専門教育科目 |

男女共同参画関連科目の開講状況(平成22年度)

◆ 男女共同参画を理解するために
(女性学・ジェンダー論、歴史・文学などの視点からの科目)

| No | 開設部局等 | 開講学期 | 曜日 時限 | 対象 年次 | 科目名等 | 講義コード | テーマ | 担当教員名 (職名) | 科目区分 |
|----|---------|------|-----------|----------|------------------------------------|----------|--|------------------|--|
| 19 | 総合科学研究科 | 後期 | 水 3,4 | M1年次 | 民族学研究 | AZ4B0101 | 東アジア、東南アジア、日本等を中心とする民族誌を参照しながら、特に、社会人類学・宗教人類学・ジェンダー人類学等の立場から講義を行う。講義を構成する理論的立場としては、各地域における少数民族、先住民、エスニティ等の民族学的言説の位相に関する既存の理論を批判しながら、広くマイノリティとマジョリティの関係性について動態的に考察し、理論化する。 | 高谷 紀夫 (教授) | 専門教育科目 |
| 20 | 文学部 | 前期 | 火 3,4 | 2年次 | 現代文学概説 | BK208201 | 昭和以降の主要な文学潮流を検討するなかで、雑誌『女人芸術』に集まった女性作家や戦後の女性作家の動きなどを取り上げて、文学にジェンダーがいかに関わるかを学ぶ。 | 有元 伸子 (教授) | 専門教育科目 |
| 21 | 文学部 | 前期 | 火 5,6 | 3年次 | 現代文学演習II | BK506001 | 近代文学作品の分析(ジェンダー分析を含む)により文学研究の方法を学ぶとともに、発表や質疑を通じて他者に伝える表現力を身につける。 | 有元 伸子 (教授) | 専門教育科目 |
| 22 | 文学部 | 後期 | 火 5,6 | 3年次 | 現代文学研究法 | BK208302 | 尾崎翠、坂口安吾、田辺聖子の作品を読み進めながら、ジェンダーがいかに表象されているのかを学ぶ。また、尾崎翠の受容を通じて、女性作家の生と評価のあり方について検討する。 | 有元 伸子 (教授) | 専門教育科目 |
| 23 | 文学部 | 後期 | 火 3,4 | 2年次 | 現代文学演習I | BK406002 | 近代文学作品の分析(ジェンダー分析を含む)により文学研究の方法を学ぶとともに、発表や質疑を通じて他者に伝える表現力を身につける。 | 有元 伸子 (教授) | 専門教育科目 |
| 24 | 文学部 | 後期 | 水 5,6 | 1年次 | 日本文学語学入門 | BK001002 | 広島出身の作家や広島を舞台とした文学や映画を検討して、文学と風土・時代(ジェンダーやセクシュアリティも含む)との関わりを学ぶ。その際、女性作家や作品を多く紹介する。 | 有元 伸子 (教授) | 専門教育科目 |
| 25 | 文学研究科 | 前期 | 金 9,10 | M1年次 | 日中言語文化交流論B | M4004002 | 森鷗外の「雁」の女性表象を検討し、「金瓶梅」や「小青伝」のイメージが重ねられる理由をジェンダーの視点から検討し、ジェンダー批評の方法を学ぶ。 | 有元 伸子 (教授) | 専門教育科目 |
| 26 | 教育学部 | 前期 | 金 5,6 | 3年次 | 生活設計論 | CC421905 | 人間生活教育(家庭科教育)における生活設計の教材化について解説する。生活設計論においては、生活設計を、大きく短期的・中期的生活設計と長期的生活設計に分けて考える。前者では日常生活をどう計画していくか、後者では人間の生涯にわたる生活をどう計画していくかについて学習する。 | 平田 道憲 (教授) | 専門教育科目 |
| 27 | 教育学部 | 後期 | 木 5,6 | 3年次 | Japanese Society and Gender Issues | C7002032 | By taking this course, students will ・Gain understanding of gender equality issues in the Japanese society: gender concept related to a household, role divisions in a workplace, changes of policies in the education system, and gender related social issues. ・Learn to critically examine the way Japanese women/men have been represented socially and historically, and its reality ・Gain basic understanding of feminist theories in the context of Japanese society Covered topics : feminist theories, gender equality issues in family relations (domestic and international marriage, children's right), education, workplace, and current issues such as stalking, sexual harassment, reproductive rights, and gender representation in mass media. | 恒松 直美 (准教授) | 専門教育科目 短期交換留学プログラム(HUSA)留学生用 特別科目(英語) |
| 28 | 教育学研究科 | 前期 | 火 7,8 | M1年次 | 教育とジェンダーの国際比較論特講 | NMQ10080 | 確立された近代学問及び研究において無視又は軽視される傾向にあった「女性」の存在を再検討し、研究される「対象」から「主体」へと転換を図ることを目指したジェンダー理論の視点について学ぶ。主に、異なる文化圏のジェンダーの問題について考察し、教育との関わりを分析する。多様な文化・宗教・社会的要素との関わりの中で理論構築を模索するジェンダー理論の発展について学び、知識構築の枠組みを批判的に分析する力を養う。 | 恒松 直美 (准教授) | 専門教育科目 |
| 29 | 国際協力研究科 | 後期 | 集中 | M1年次 | 教育開発とジェンダー | X0050439 | 教育開発とジェンダーの問題について、その理論的枠組み、発展途上国における女子教育の現状と阻害要因を概観した後、東南アジア・アフリカ諸国におけるジェンダー政策およびジェンダーの視点を取り入れた教育プログラムの展開、さらにイスラームとジェンダー再解釈の事例を検討する。これにより、ジェンダーの視点から発展途上国における教育開発の問題を捉えなおし、課題の解決に向けた教育開発の方向性を考えたい。 | 服部 美奈 (非常勤講師) | 専門教育科目 |